

あすなろ通信

No. 115

2021.8.1発行

あすなろ保育園後援会

飯田市育良町3-15-2

TEL (0265)23-4656



つくし組 (0歳)
5名
たんぽぽ組 (1歳)
12名
ひまわり組 (2歳)
11名
かっぱ組 (3歳)
5名

あすなろ

は
今

まゆの
雑記帳

卒園しても繋がる縁

昨年度開催できなかつた運動会。今年は卒園児の皆さんにもぜひ来てもらいたい願いを込めて、昨年同様、招待状に近況報告を記入してもらう欄も作り、現6年生までに送りました。

今の近況と楽しみにしています！という言葉と共に届く返信ハガキに、私達も会えるのをとても楽しみにしていたのですが：感染警報レベル4という中で、苦渋の決断をし、今年度は招待を断念しました。

あすなろには様々な地域から通う家庭があります。だからこそ、運動会や歳末市などみんなが集まる行事は、O.B.の皆さんに気軽にあすなろに帰ってきてもらえる場としても、大きな意味があります。

子どもさん、保護者の皆さん同士の縁が卒園しても続いていることは本当に大きな喜びです。だから、来年こそは一運動会を楽しみにしていて下さいね！

あすなろ運動会

新年度が始まって園に慣れてきた5月。各クラスの今楽しんでいる遊びを全保護者に見てもらいたいと願って、クラス毎、子どもたちの好きな物は何かを探り、園庭が狭いので北方公園で開催するのですが、どうしたらいつもと違う場所で楽しめるのか、内容を試行錯誤しながら、当日に向かった2年ぶりの運動会。

新型コロナウィルス感染警戒レベルが4に上がってしまい、急遽卒園児の参加は出来なくなってしまいとても残念でしたが、朝には雨も上がり園舎から10メートル先の広い北方公園で無事に開催することができました。

北方公園で「ばななくんたいそうしよう！（準備体操）」と声をかけ、園から散歩に出かけると、運動会会場に到着。

どの順番でやったら子ども達が楽しめるか考えてクラス競技が始まりました。



役員の皆さんと遊具の確認



軽トラで遊具の搬入



保護者テント設営



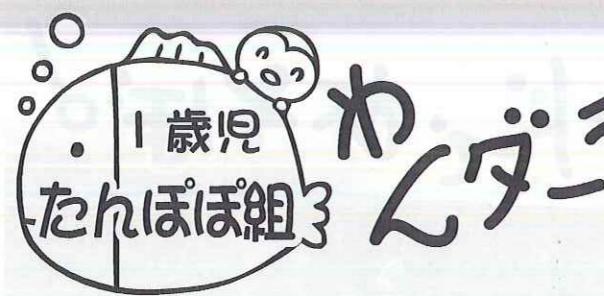
役員さんと音響確認



北方公園入場



みんなで準備運動「ばななくんたいそう」



わんダーランドであそぼ！

たんぽぽ組は、ワンワ大好き。コロナ禍で思うように遊びに行けない今だからこそ、思いきり身体を動かして遊べてかわいい犬がいっぱいいる“わんダーランド”を作つてみました。

とにかく身体を動かして遊びたい子ども



達。日々楽しんでいる、スロープ、階段、橋を自由に遊べるようにたくさん作りました。

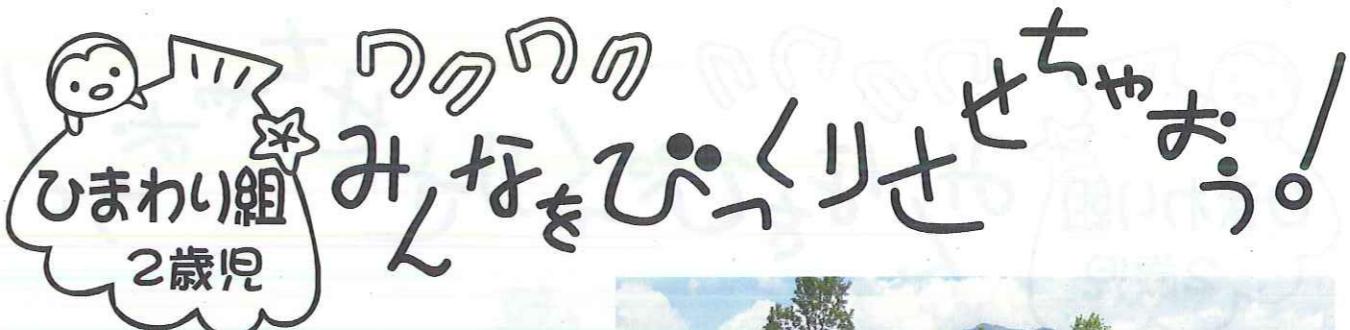
思う存分遊んでほしいなと願いながらも、まだ、1歳児。いつもの場所と違つことで12人の子どもたちがどんな様子を見せてくれるか保育士もドキドキ、ワクワク。子どもが一瞬でも楽しい！！って感じてもらえたなら大成功だよね！と心を一つにいざ本番をむかえました。

いつも親しんでいるものがあったら安心するかなと作つて仲間になった犬と猫のパペットと”犬のおまわりさん”を一緒に歌いながら出かけました。避難車から「わんダーランド」が見えると、下りたいと背伸びする子もいて早速遊び始めました。

そんな中、不安になって泣き出す子もいましたが、いつも遊んでいる遊具が見えたり、風船でつくった犬を見ると気分が変わって遊び始めました。風船の犬と夢中で遊んでいたら割れてしまうハプニングもあって大笑い。思い思いに遊んでいたら、「わんわん」



の声と共に大きな布が近づいてきました。布には犬の絵が貼つてあったので近づいてみると「いないいないばあ」と布が取れ、犬に変身したお父さん、お母さんが出てきました。びっくりし過ぎたのか、なんともいえない表情で固まつていましたがその後、抱っこされた時にはとってもいい顔になりました。布に犬の絵を貼つたり、いろいろな工夫をしてみましたが、子ども達が引き寄せられ楽しい表情がたくさん見られてよかったです。

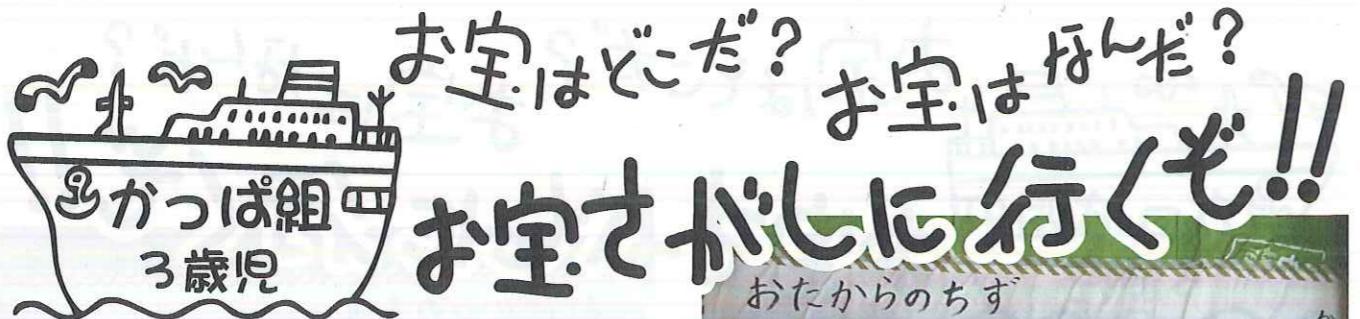


ひまわり組には、1人1個ずつのダンボールがあります。そのダンボールに隠れて、部屋に来た人をびっくりさせたりすることを楽しんでいました。

いつものようにダンボールに隠れて遊んでいた日のこと、大きな布あばけがやってきました。そろそろとダンボールに近付いてくるあばけに、大喜びをする子、怖くて固まる子、自分もあばけになってみたくて布に入ってみる子など、様々な反応を見



「いないいないばあ」作戦大成功！



「この1年間にかごっこ世界で楽しむものはないかなあ…。」と思っている時に出会った絵本『にんじやじや！』。

とっても子どもたちが楽しんで見ていて、絵本の中に登場する手裏剣やまきびしにも興味を持っていたので、忍者になってこの1年楽しんでいけるといいなと思い、運動会にもにんじやごっこを楽しむことにしました。

絵本の中出てくる“お宝の地図”に興味をもって、お宝探しに行くという展開を考えました。どんな風に運動会まで“にんじやごっこ物語”を展開していくか考える中で、特に大事に考えてきたことがあります。

それは初めてのことに不安のある子がいて、その子がどうしたら不安を少しでもなく



手裏剣の木にみんなでジャンプして取るぞ！！

し、運動会を楽しめるのかということでした。まず、絵本の中に登場する、親しみのあるにんじょんよりから巻物が届くようにしました。その中にはお宝の地図とにんじょんより、『お宝を探しにあいで～！』という一文を入れました。イメージしやすいように地図には写真付きで運動会当日に使う物（ケンケンパの輪や手裏剣の木など）を載せることにしました。

お宝もどんなものが分からないと不安になると思い、お宝も事前に担任のお宝（折り紙で娘と息子が折ってくれた花やカブト虫など）を見せてることで「お宝って何かいい物なんだ、ステキな物なんだ。」と思ってもらえるよう工夫しました。

運動会と言っても子どもたちには「何の日？」となりそうなので、毎日がお宝探しの日とし、運動会当日も「今日こそお宝見つけに行くぞ！」と運動会とは言ってきませんでした。そんな工夫をしながら、「お宝はどこだ？ 地図に載っている手裏剣の木はどこ？」とお散歩に行きながら毎日探しました。

毎日探す中で、不安だった子もイメージができ始め、他の子もよりイメージが具体化し、

せていた子ども達でした。あばけに怖さがあった子も何回か遊んでいるうちに、楽しくなってきて、あばけとの関わりを楽しむようになってきました。

そんな遊びを運動会でもみんなで楽しめたらいいな、みんなにも見てもらえたらしいなと思い考えました。運動会という、いつもと違う場だけれど、よりワクワクして向えるように、いつも遊んでいるだいすきなダンボールに隠れてみんなをびっくりさせちゃあう！と、運動会当日の朝、作戦を立てました。

見つからないように「しーっ」と、ひっそり北方公園に向います。しかし、公園が近づいてくると、テントにいるお家の方たちが見えて嬉しさのあまり「ママー！」と、思わず走り出してしまって、そんな可愛い姿もありました。

たんぽぽ組が終わって、いよいよ出番がやってきました。みんなで一つの大風呂敷に隠れて、ダンボールまでこっそり歩きます。ダンボールに隠れて準備はOK！ セーの「いない、いない、ばあ！」箱から飛び出たひまわり組、作戦は大成功しました。

その後、ジャングルジムやマット山、平均台で遊んでいたその時…どこからか布あばけがやってきて、逃げるひまわり組。

ちょうどいいところに、登場の時に隠れたダンボールが現れて、またまた隠れて一命を



動物のお尻に付いていたのは“しっぽ”

取り留めました。あ～よかった！ 一安心！ ダンボールから出て、何かを見つけます。

ん？ あれは何だ？ 「お尻があった！」 とCちゃん。いろいろな動物のお尻についていたのは“しっぽ”。引っ張って取ってみたり、取ったものをまた動物のお尻に戻してみたり、さっそく自分のお尻につけてネコに変身する子も。「ウサギ」「ペンギン」「カエル」「ゾウ」など、しっぽをつけた、ひまわりさん動物がたくさんでした。運動会で見つけた“しっぽ”。お散歩につけて行ったり、しっぽをつけると力も湧いて「しっぽたんけんたい」になつて、楽しんでいる日々です。

子ども達の発想の中で、遊びを広げていきながら、“しっぽ”と、ひまわり組の関わりを楽しんでいきたいと思います。

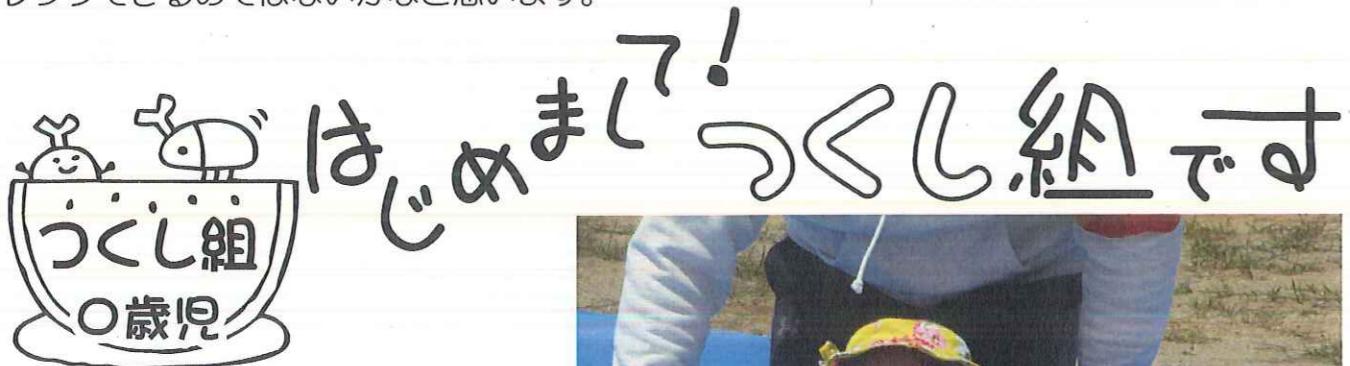


布あばけがやってきた。ダンボールの中に逃げろ～



“しっぽ”を付けて何に変身しようかな。引っ張ってとれるかな？

を、この1年忍者ごっこを通して、自分ではない忍者になりきるから、ちょっと苦手なことや「できるかな…」と不安なことにもチャレンジできるのではないかなと思います。



5月当初のつくり組は、4ヶ月から1歳1ヶ月までの3名でした。

月齢の違う子ども達が、それぞれに”何を見ているか、どんな事に興味があるか、どんな時にいい顔をするのか”を日々大切に見ながら関わってきました。

4ヶ月のAちゃんは3ヶ月で首が座り、うつ伏せの姿勢になると頭を



はじめはキヨトン。そのうちいつものようにオモチャに手を伸ばす。

しかし、その直後、諸事情で鼎上山への建設は断念せざるを得なくなりました。「えっ！」と一同真っ青になった覚えがあります。

1990年7月号 北方伊賀良町に園舎建設決定

鼎上山を断念した後、またあちらこちら候補地探しや紹介された場所への訪問活動が再開されました。そして、そうこうしているところに現在地（北方伊賀良町）の話が舞い込んできたのです（私にはそんな感じでした）。この話はトントンと進み、地主の加藤さんとも契約が成立しました。資金集めはまだ目標未達成でしたが、いよいよ新園舎建設設計画が実現する運びとなり、安堵感とともに資金集めへの炎がさらに大きくなった気分でした。

1990年9月号 新園舎一次案できる 「あすなろ会」スタート

あすなろ保育園の設置、経営を主な目的にしてスタートしました。初代理事長にはつくる会会长の堀竹良輔さんが選出されました。新園舎完成とともに認可保育園となるためにも必要な組織ということでした。
○岡田寿真子新園長誕生

長い間あすなろ保育園の運営・保育実践の先頭に立っていただいてきた吉川昌子さんからバトンタッチでした。
○この年は、7・8・11月にバザーを開催しています。
○この時点の建設カンパ達成額 11,117,859円

(次号へ続く)

—7—

散歩先や室内などいろいろなところで忍者になり、体と心も成長して欲しいなと思います。次はどんなことが起きるのか楽しみです！！

—6—

みんなで同じイメージの中でお宝探しを楽しめたのではないかと思います。

運動会前々日が雨でお宝探しに行けなかつたので「地図の中の物を見つけたら、それをできるのか？どうやったら次のものへ進めるのか。」を保育園の中の物で似たようなものを使ったり、イメージして遊びながらやってみました。「川は泳ぐ！」「大きな川だったらどうする？」といろいろ想像し、「ロープで渡ろう！」と作戦も立てました。「これなら



お宝箱発見！手裏剣を投げて落とそ～！！

大丈夫！」と子どもたちもイメージができ、自信になった様子でした。前日は担任が不在だったので、代替保育士が「お宝探しって何？」と聞くと子どもたちが、「こんなことしてるの！教えてあげる！」と話すことできどもたちも誇らしげな気持ちになったようでした。

当日はお宝をみんなでゲットし！「やっと見つけた！！」と大喜びでした。

大きくなろうとしている3歳のこの時期



大きな川だ！ロープを引っ張って渡るぞ！

「あすなろ保育園をつくる会」の活動に関わった思い出話 (4)

(元保護者 高森町)木村 典雄

1898年9月号 飯田市議会に「陳情書」を提出
陳情事項 「新築、移転に伴う費用に、応分の助成をいただきたい」

継続審議になったので12月議会に向けた準備を始めました。

この時点では「鼎上山」に新園舎建設がほぼ決まり、設計は山住博信設計士、建築工事は、伊賀良建設というところまでも決まっていました。翌年4月新園舎での保育開始も予定されていました。資金集めと鼎地域へのお知らせも兼ね、健和会病院の駐車場をお借りして9月にバザー（つくる会

主催）、更に10月には今宮公園で運営委員会主催のバザーが計画されました。7月には恒例の運営委員会主催による橋北防災センターでのバザーを済ませていました。12月上旬には現在も続いている年末バザーも予定されていたので、7月から12月の5ヶ月間に4回のバザーが実行されたエネルギーには思い返しても驚きです。

○この時点の建設カンパ達成額 7,865,263円(予約含め285名)

4ヶ月ほどの間にカンパの協力に応じてくださった方が250名ほど増えたことになります。目標額の3分の1を超えたところですが、協力してくださる輪が随分広がっていることで心強く思うとともに、「これからが正念場だ。」という思いも一方ではありました。

最後の競技「親子でいっぱいあそんじゃよ～」



子ども達が、暑さで疲れていたので少し短縮して「バスにのって」「おす



もうくまちゃん」「せんたく」のふれあい遊びを1回ずつやって親子でいっぱい笑いました。

その後は今年初の試み飯田名物の“赤飯饅頭”をパン食い競争みたいにもらって運動会は終りました。



おしゃべい♪あのね

◎Hちゃん（3歳3ヶ月）黄色の桜の葉を保育士に見せてくれる。

Hちゃん「きれいでしょ」

保「本当だね。ここにもいっぱいあるよ」

Hちゃん「葉っぱの保育園だね」

◎K君（2歳6ヶ月）に

保育士「にっこりのTシャツだね」と声をかけると

K君 自分のほっぺをさしてニッコリ顔を見てくれた。

◎室内で壁に板を立て掛けてそこに寝ながら

Hちゃん（3歳4ヶ月）「お星さま見てるの」「あ、うめぼしみつけた！」

◎Sくん（1歳9ヶ月）が手洗い中ハンドソープを頭に上手に乗せて頭を洗っていました。

◎Sくん ズボンを履く時に「たっちして」と保育士に言われて手を出してハイタッチ！

ぐっと上げ、腕を前に出し体を支えるようになりました。目の前に色々な玩具を置いてみると、ガラガラの玩具（赤と黄色がお気に入り）やゴムボール、車などに興味を示し、自分から手を伸ばして触ったりなめたりして夢中で遊ぶ事が多くなりました。

1歳1ヶ月のBちゃんは歩行がずいぶん安定していて、あちこち良く歩いて楽しんでいました。玄関の少しの段差の上り下りは少しバランスを崩しやすいのですが、よく見て考えてお尻をついて降り、手足を使って登ってにっこりする姿がありました。部屋に階段滑り台を出してみると、はじめはじっと見ていましたが、上にオモチャを置くと、それを目指して手足を使ってゆっくりと這い上がってきました。

1歳になったばかりのCちゃんも這うこと楽しくて一緒に這い上がり、互いに何回も上ったり下りたり。そのうち、階段の向こうにいる保育士と、「いないないばあ“も期待して上がってくるようになりました。

そんな日々の楽しい遊びや関わりを運動会

でも楽しめたらしいなと願い、いつもと違う公園でも、慣れた部屋の環境に近い設定に心がけてみました。

当日は、4ヶ月の子はマットの上で気分良くなつ伏せに。1歳の子は階段滑り台を登って遊びました。まわりで見守るお父さんお母さんや、たくさんの保護者の方に、つくし組さんのかわいい姿や成長を見守っていただけたと思います。



じっと見ていたけれど、向こうにいる保育士に気付くと、ゆっくりと手足を付いて高高いで上がり、ポールを手にしてニッコリ。



暑い夏に涼しげなゼリーのおやつはいかが？ アジサイゼリー

*暑い時期に、子ども達のおやつ悩みますよね？あすなろのゼリー（りんご・梅・ぶどう）は寒天で作るので、市販のゼリーとは食感が違います。先日、アジサイに見立てて“アジサイゼリー”をおやつに出したところ、「色がキレイ！」「ぶどうとりんごで美味しいかった」と子ども達にも好評でした。ぜひ、お家でも作ってみてください。

【材 料】(8人分)

りんごジュース

…… 300mℓ

粉寒天(1袋)4g

砂糖 30g

水 150mℓ

【作り方】

1、鍋に水と粉寒天をいれ混ぜてから火をかける。沸騰して1分ぐらいは火を弱火で寒天をよく溶かす。

2、1に砂糖とジュースをいれ混ぜる。

3、2をお好きな型にいれ冷蔵庫で冷やして出来上がり。

※ジュースは季節のジュースでいろいろ作ってみてください！

☆アジサイゼリーは、りんごとぶどうの2種類のジュースを使用してサイコロ型に切ってまぜました。



「無料低額診療」をご存知ですか？

健和会病院小児科 和田 浩

「無料低額診療」をご存知ですか？

経済的に大変な方でも安心して診療が受けられるように、保険診療の自己負担分を無料または低額にするものです。

飯田下伊那では健和会病院だけがやっています（子どもは自治体の医療費助成制度があるので対象にはなりません）。

コロナで経済的に困窮している方がたくさんいるはずです。

そのため「本当は病院に行った方がいいと思うけれどがまんする」という方も少なくないと思います。

たとえば糖尿病で、薬をやめるのはよくない、放っておくと病気が悪くなって、いろいろまずいことがあきてくるとわかついても、「お金がないから仕方がない」とあきらめてしまうのです。

お金のために命や健康をあきらめるなんて、そんな話があつていいわけがないと思うのです。

でも、「無料低額診療」は、とにかく知られていません。

健和会病院では、いろいろな形で広報をしていますが、それでも知られていません。

なので、もし皆さんのまわりでそういう方がいたら、こういうのがあるそうだよと知らせてほしいのです。

「無料低額診療」の対象になるかどうかは、収入などについて審査が必要ですが、まずはがまんしないでとにかく診察を受けて、費用のことはそれから相談したいと思います。

あすなろの予定

9月3日 秋まつり

10月2日(金)

虚空蔵登山

11月5日(金) 焼き芋大会



編集後記

◆県内だけの劇団で県内だけの観客に縮小して、8月5日から開催予定の人形劇フェスタ。コロナの爆発的感染拡大が心配。県内基準のレベル4になつたら開催期間中であつても即中止。2年連続の中止にはしたくないけれど……でもでも、オリンピックを開催し続けているような厚顔無恥な顔はできません。これ以上広がらずおさまっていくことを期待します。②

◆保育園のお散歩で陸橋へ行き、キャリア

カーを見つけて「パパの一！」と嬉しそうな顔をした息子（2歳8ヶ月）。車が大好きでどんなものでも車に見立てて遊ぶよ。将来パパと一緒に大きな車に乗れるといいね！㊪

◆7月は家族全員の誕生月です。子どもが手紙をくれて、「長生きしてね」と書いてありました。食生活を見直そうと思います。㊫

◆線状降雨帯だのゲリラ豪雨だの全国各地で恐ろしい自然現象が発生しています。雨がやんで雲の間から青空が見えると被災地の方々もこの青空が待ちどおしいだろうなって思います。そんな中、あすなろ運動会、みんな楽しむ事ができて良かったね！㊬

◆小5の息子がメダカの赤ちゃんの卵を学校からもらっていました。2ミリだった稚魚も2センチほどになりました。「おはよー」と毎朝声をかけたりして、小さな命が愛おしいです。㊭